

# 手をたずさえて

自ら学ぶ生徒  
正しく行動する生徒  
健康でたくましい生徒



令和2年2月17日(月)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## 最終倍率確定！ “いざ、勝負の時です！” 新制度による県立高校入試に向けて…

本日2月17日(月)には、出願先変更期間が終了し、今年度の県立高校入試の最終倍率が確定します。12日には最後の実力テストを終え、県立高校を受験する3年生は、いよいよ「臨戦態勢」(いつでも戦いに臨めるよう準備の整った状態のこと)に入る時期となりました。県立高校では、今年度から新たな入試制度が導入されます。一番重要なのは、学力検査において志望校の合格基準点を突破することです。直前の対策については、教科担当や学級担任等からも指導があったと思いますが、6日に私が行った「県立高校入試直前対策講座」をもう一度思い出してください。県立高校入試の社会科の入試問題分析から、直前の学習としてどんなことに取り組んでいけばよいのか、気持ちの持ち方も含めアドバイスした内容です。体調管理には十分留意し、教科書をうまく活用したり、今までやってきた問題集やテキスト、各種テスト等をやり直したりするなど、最後の最後までぶとく、あきらめることなく準備作業を進めてほしいと思います。



最後の実力テストに挑む3年生



県立高校入試直前対策講座

心理学の世界では、「未来はこうなるだろう」と明確に予言することで、その予言が現実になる効果があるという理論があります。それを『自己成就予言』と言います。自分の未来を明確に予言し続けると、自然に意識がその方向に向けられ、行動そのものもその方向に向かい、やがては思いが成就する、という考えです。「A校に合格したい」というありふれた希望を、「A校に絶対合格して、A校生になる！」という明確な“宣言”に替えて挑戦してみてください。6日にも言いましたが、ポジティブ(前向き)な気持ちを大事にしてください。

## 新入生保護者会 開催

2月7日(金)には新入生保護者会を開催しました。多くの新入生の保護者の方々が参加される中、星PTA会長、校長の挨拶の後、学校の概要、学校生活の実際、その他事務手続き等について、各担当から説明を行いました。現時点では、来年度は229名の新入生を迎え入れることになっています。全校生徒数は674名となります。(現在は658名)しばらくの間は生徒数が増え続けます。大規模校の利点を生かし、たくさんの個性が集まる学校で、生徒同士がよい意味での競争心をもって切磋琢磨できる、成長し続ける学校をめざしていきたいです。そして、新入生達には、まずは当たり前のことを徹底して一生懸命にやり抜く姿勢を身に付けてほしいと思います。その積み重ねがやがて大きな差となり、当たり前ではない結果が生まれてきます。そんなことを新入生に期待し、受け入れ体制をしっかりと整えていきたいと考えています。



## 富中生の健康状態は… 学校保健委員会 開催

1月30日(木)には、学校医の山澤先生と学校歯科医の田中先生をお招きして「学校保健委員会」を行いました。保護者代表ではPTAの中島副会長が出席されました。会では、身体測定や各種検診の結果、生徒の欠席状況、保健室の利用状況など、本校生徒のからだや健康の実態から意見交換が行われました。専門医や保護者の立場からの意見等から新たな気づきがたくさんありました。今後の健康教育に生かしていきたいです。



## かがやくこと、 いくつか...

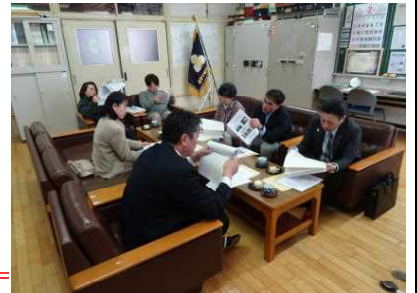
- 久米賞・百合子賞 11/23  
小説部門 **努力賞** 渡邊みり、鈴木ひかり
- 全国中学生人権作文コンテスト福島県大会 11/27  
**優秀賞** 千葉桃佳、小田あい

- 郡山市特別支援学級児童生徒合同作品展 11/25 **右の写真がこの作品です→**  
**入賞** 板垣果南、飛澤海斗、中村桂一郎、野村圭佑、大橋奏汰、宗像拓海
- 第7回 県中教育リーグ野球大会 2/1 Cリーグ **優勝**  
田母神稟、木村亮介、瀧津安弥士、鈴木康大、安部魁莉、長谷川欄、二階堂安理  
嶋原 陸、藤田源一朗、菊地大慈、雨宮幹太、橋本侑大、星 大雅、高橋直生  
緑川耕大、中島音和、山崎 隼、岡田直樹、寺山和輝



## 誇り高き学校へと... 第2回学校評議員会 開催

2月12日(水)には「第2回学校評議員会」が開催されました。板倉恵様(元PTA会長)、高野麻子様(元PTA役員)、増子美幸様(元PTA会長)、遠藤紀昭様(元PTA会長・教育活動後援会長)、土生光浩様(前PTA会長)、片岡由美子様(元PTA役員)、佐藤栄作様(富田東小PTA会長)、計7名の評議員の方々が来校され、5校時の授業を参観し、その後校長室において話し合いが行われました。校長から、今年度の学校評価の結果や新制度による県立高校入試制度等について話題を提供し、意見交換がなされました。評議員の方々からは、次のような様々な意見が出されました。



- 生徒達の挨拶が素晴らしい。校内だけでなく校外でも地域の方々から富中生の挨拶がいいと言われている。
- 生徒達の目がキラキラしていて、学校の雰囲気もよい。
- 授業での生徒と教師との人間関係のよさが分かった。
- 校舎内がとてもきれいで、教室や廊下の掲示物も工夫されている。
- 1年WS廊下に掲示されている職業調べや働く人々に学ぶ会の資料、2年で実施する職場体験学習などの活動は、職業に就くために、どんな上級学校(高校、大学等)に進んでいくべきかを考えていく上でとても有効である。
- 一番大切なのは社会人になってからで、中学校の段階から先を見通して、今、何をすればよいのかを考えさせていくことが大切である。
- 自転車の生徒が、交差点で一旦停止しない危険な状況があった。交通事故には十分注意させてほしい。
- 今の富中のいい状態、いい雰囲気をこれからも続けてほしい。



大規模校ではありますが、生徒達が落ち着いた雰囲気の中で元気に生き生きと生活している姿に対して、たくさんの方の称讃の言葉を頂きました。さらに誇り高き学校を目指し、今回いただいた意見等を今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。評議員の方々には、貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。

## 3年連続「特選」「特別賞」受賞! 郡山市公立学校教職員研究物展

2月12日(水)郡山公会堂において「郡山市公立学校教職員研究物展表彰式」が行われました。本校教職員の共同研究「主体的に考え、深く学び続ける生徒の育成(3年次)」が、今年度も『特選』及び特別賞『中学校長会長賞』を受賞しました。「特選」「特別賞」の受賞は3年連続となりました。

本校では各教科の授業において、ペアや小集団による対話的な学びが継続的に行われています。授業の中で、生徒達は小集団等で自然な形で話し合いを行い、自分の考えを深めたり広げたりしています。時には生徒がスモールティーチャーとなり他の生徒に教えたりすることもあります。そんな姿が随所に見られます。学力も確実に向上しており、この日々の実践の積み重ねが反映されていると考えます。このような点が評価されました。表彰式では研修主任の齋藤教諭が表彰を受けました。また、初任者の田崎教諭、曾根教諭も初任研の成果を実践記録としてまとめ、『推奨』を受賞しました。今後も生徒の目線に立った丁寧な授業づくりに取り組んでいきたいと考えます。

